

湖山池から湖山川下流部における魚の大量斃死について

平成25年7月25日
水産課、水・大気環境課、河川課

1 酸素供給装置（WEPシステム）の設置について

7月9日早朝に、湖山川を中心に酸欠と考えられるコノシロ等の大量斃死が発生するとともに、湖山池内においてもシジミの斃死が確認された。

そこで、湖山川において貧酸素を原因とする魚類等の斃死防止対策と併せて、湖山池内におけるシジミ等の生息環境を確保することを主眼に、湖山池及び湖山川の貧酸素化が懸念される区域に緊急的に酸素供給装置を設置することにより、貧酸素・底質改善効果による水産資源維持・増殖の可能性を探る。

2 設置場所及び期間の考え方

【設置場所：（2基設置、右図参照）】

○湖山池内：瀬地区（水深2.5m）

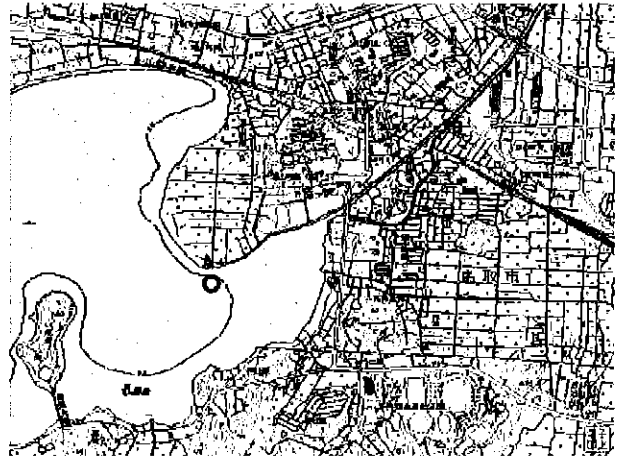
- ・7/12のシジミ生残状況調査結果から最も斃死数が多かった区域であり、シジミの生残率を高める効果が期待できる場所である。

○湖山川内：ほぼ中央部（水深2.7m）

- ・魚類の斃死が最も多く確認された区域であり、貧酸素防止効果を検証する場所として妥当と考えられる。

【設置期間】

- ・設置期間は貧酸素が懸念される10月頃までとする。



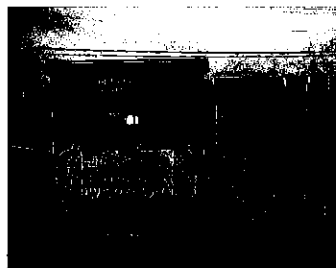
3 WEPシステム

WEPシステムは、国の（独）土木研究所等が開発した装置で、高濃度酸素水（池水、川水に高濃度に酸素を溶解させたもの）を吐出する装置。条件にもよるが最大500mまで拡散させた実績がある。

【水中装置】



【陸上装置】



大きさ、（ ）は陸上
◇湖山池内
B2.0×W1.6×H2.0m
（B3.0×W2.3×H2.2）
◇湖山川内
B1.5×W1.1×H1.3m
（B2.3×W1.4×H2.2）

4 必要経費（予備費対応）

内 容	経 費（千円）
酸素供給装置（WEPシステム）の設置（2基）	9,164

※必要経費については、鳥取市と折半の予定（市は9月補正対応）

5 効果検証

- (1) 調査水域の底生生物の種類・生息数比較（栽培漁業センター）
- (2) 溶存酸素や底質改善効果の検証（衛生環境研究所）